

2012年3月期 決算説明会

2012年5月30日

本州化学工業株式会社
(証券コード:4115)

<目 次>

I .当社の特徴

II .2012年3月期 実 績

III .2013年3月期 通期見通し

IV .2012年度中期経営計画

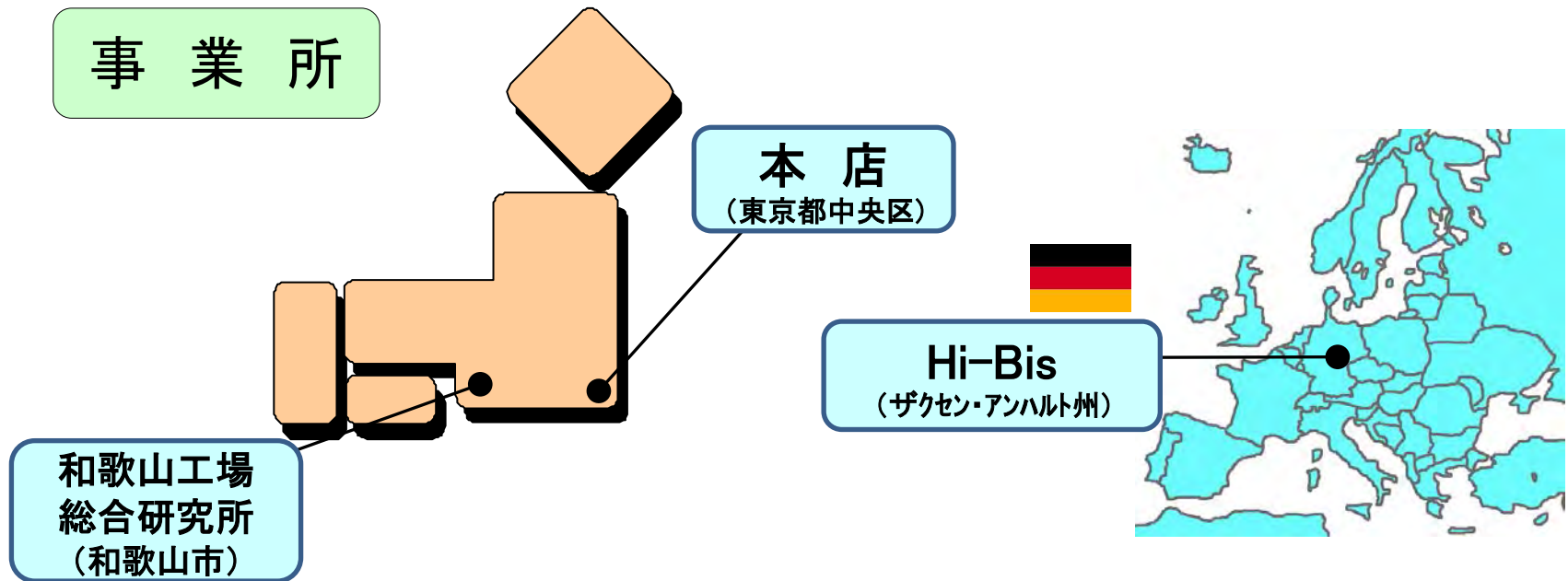
<2012年度～2015年度>

I . 当社の特徴

本州化学工業の紹介

創 業	1914年(大正3年)11月
資 本 金	15億50万円
発行済株式数	1150万株(東京証券取引所第2部上場)
主 要 株 主	三井物産(株) 26.98%(1953年資本参加) 三井化学(株) 26.98%(1968年資本参加)

事業所

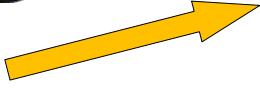


本州化学工業のコア事業

- コア事業
選定基準
- ①成長する市場がある
 - ②独自技術が活用できる
 - ③世界または日本において高いマーケットシェアを有している

メタ
パラクレゾール
フェノール
誘導品技術

フォトレジスト材料



末端市場



半導体など

ビタミンE原料



家畜飼料添加剤など

ビフェノール
液晶ポリマーなどのモノマー



数多くの
SMT部品



CPU用
ソケット

DRAM用
DIMMソケット

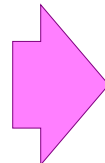
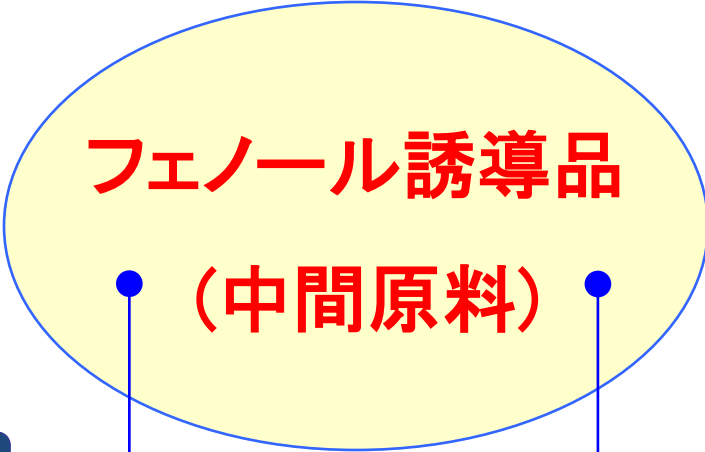
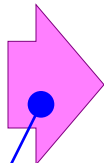
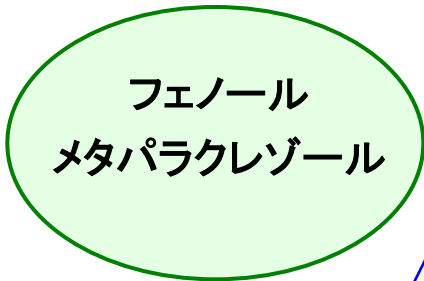
パソコン等の電子部品(コネクター、リレー他)

フェノール誘導品に特化

石油化学メーカー

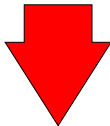
当 社

顧 客



原料を三井化学より購入

歴史的経緯と基盤技術の蓄積から
フェノール誘導品の合成が得意



顧客から頼りにされる
製品開発パートナーとしての関係

「コア製品」を見出し、育成・強化・拡大を図っていく

フェノール誘導品事業の展開

- 1914年11月 会社設立(由良精工合資会社)
- 1915年 2月 合成フェノールの製造開始
- 1961年 3月 ビスフェノールAの製造開始
- 1971年 1月 トリメチルフェノール(ビタミンE原料)の製造開始
- 1988年 4月 ビスフェノールA事業を旧・三井石油化学工業(株)に譲渡
- 1990年 6月 フォトレジスト材料の製造開始
- 1991年 3月 ビフェノールの製造開始
- 2004年12月 Hi-Bis社(特殊ビスフェノール)の営業開始
- 2008年 2月 ビスフェノールF製造設備増設
- 2009年 1月 精製BHT(酸化防止剤)事業の開始

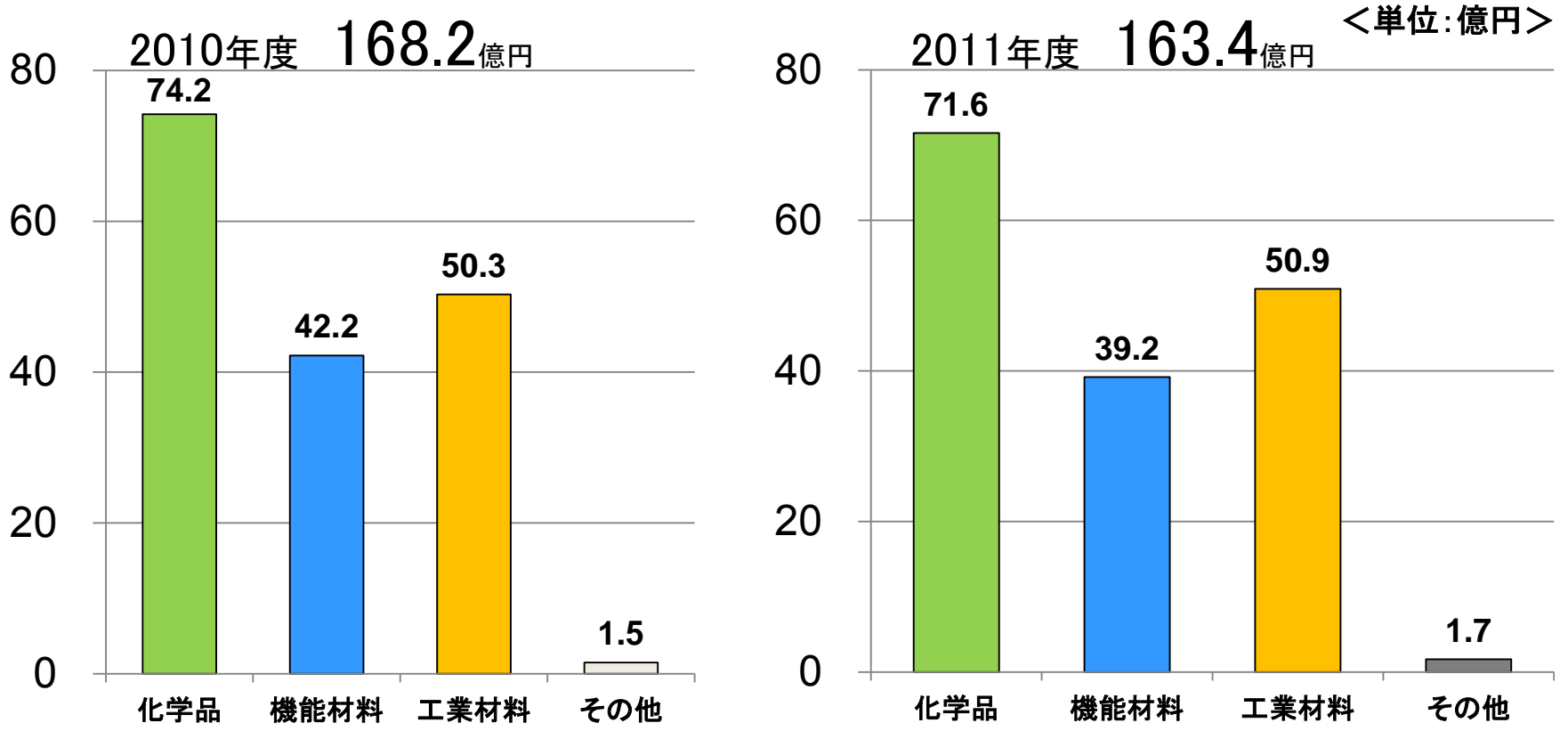
Ⅱ. 2012年3月期 実績

2012年3月期 連結業績

	2012年3月期		<単位:億円>	
	予 想 (2012年3月27日公表)	実 績	2011年3月期 【*最高益更新】	
売 上 高	163.0	163.4	168.2	
営 業 利 益	13.0	15.3	*	19.0
経 常 利 益	12.5	15.0	*	19.8
当 期 純 利 益	6.0	7.7	9.8	

対2012年3月予想 売 上 高 +0.4億円 営 業 利 益 +2.3億円
 経 常 利 益 +2.5億円 当 期 純 利 益 +1.7億円

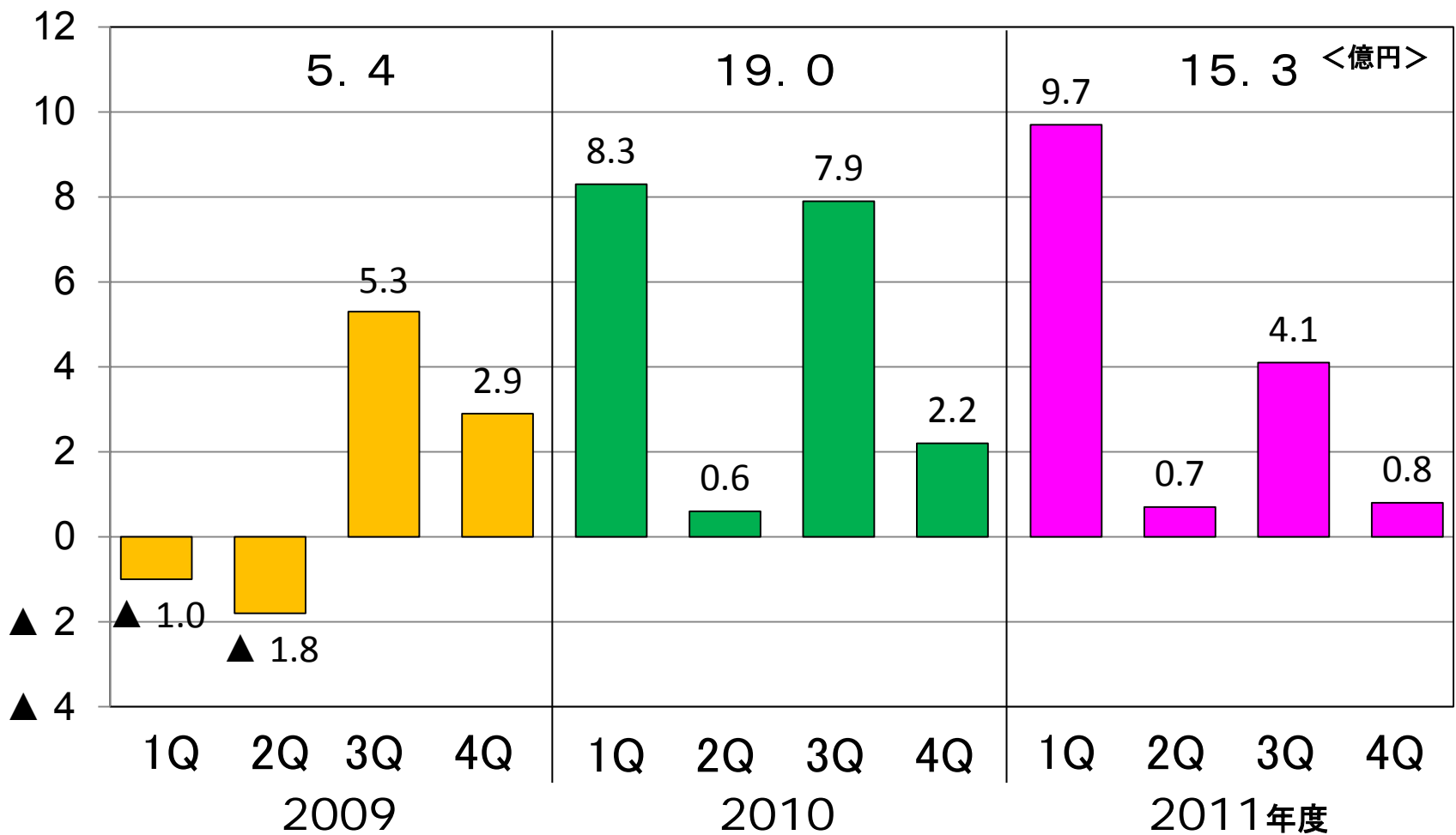
セグメント別 売上高



【2010/2011年度】

化学品 ▲2.6億円 / 機能材料 ▲3.0億円 / 工業材料 +0.6億円

四半期別営業利益推移(連結)



2012年3月期 総括

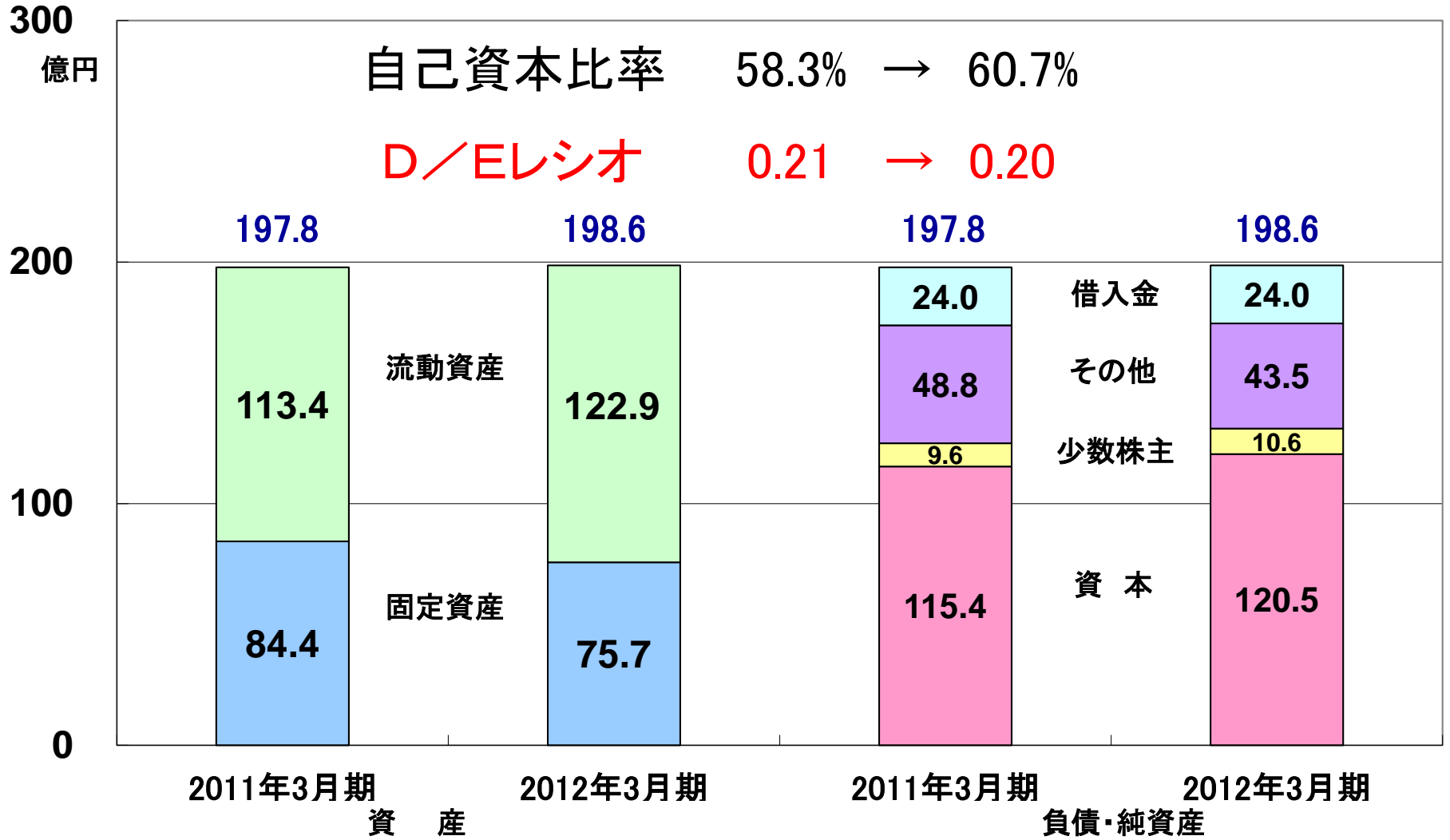
◆「当社の事業環境」

- ①世界経済の減速・超円高・原油価格の高騰
- ②IT・デジタル家電分野の減速・市場のグローバル化

◆「実行した施策」

- ①既存コア製品の販路拡大
- ②開発製品のマーケティング強化
- ③和歌山工場の安全・安定運転
- ④生産効率化、コストダウン

貸借対照表(連結)



Ⅲ.2013年3月期 通期見通し

2013年3月期 通期見通し

連結業績予想につきましては、以下の理由により**未定**とさせていただきます。

【理由】

平成24年4月22日に発生しました三井化学株式会社岩国大竹工場の爆発・火災事故により、同社から主原料として購入しているメタパラクレゾールの生産・出荷が現在停止しており、その再開時期等が現時点では不明であり、当社業績について合理的な予想を行うことが困難であるため。

当社製品への影響について

★三井化学（株）岩国大竹工場の製品在庫で被害を受けていないことが確認されたものについては一部の製品で出荷を再開。他製品も出荷を再開すべく準備が進められています。

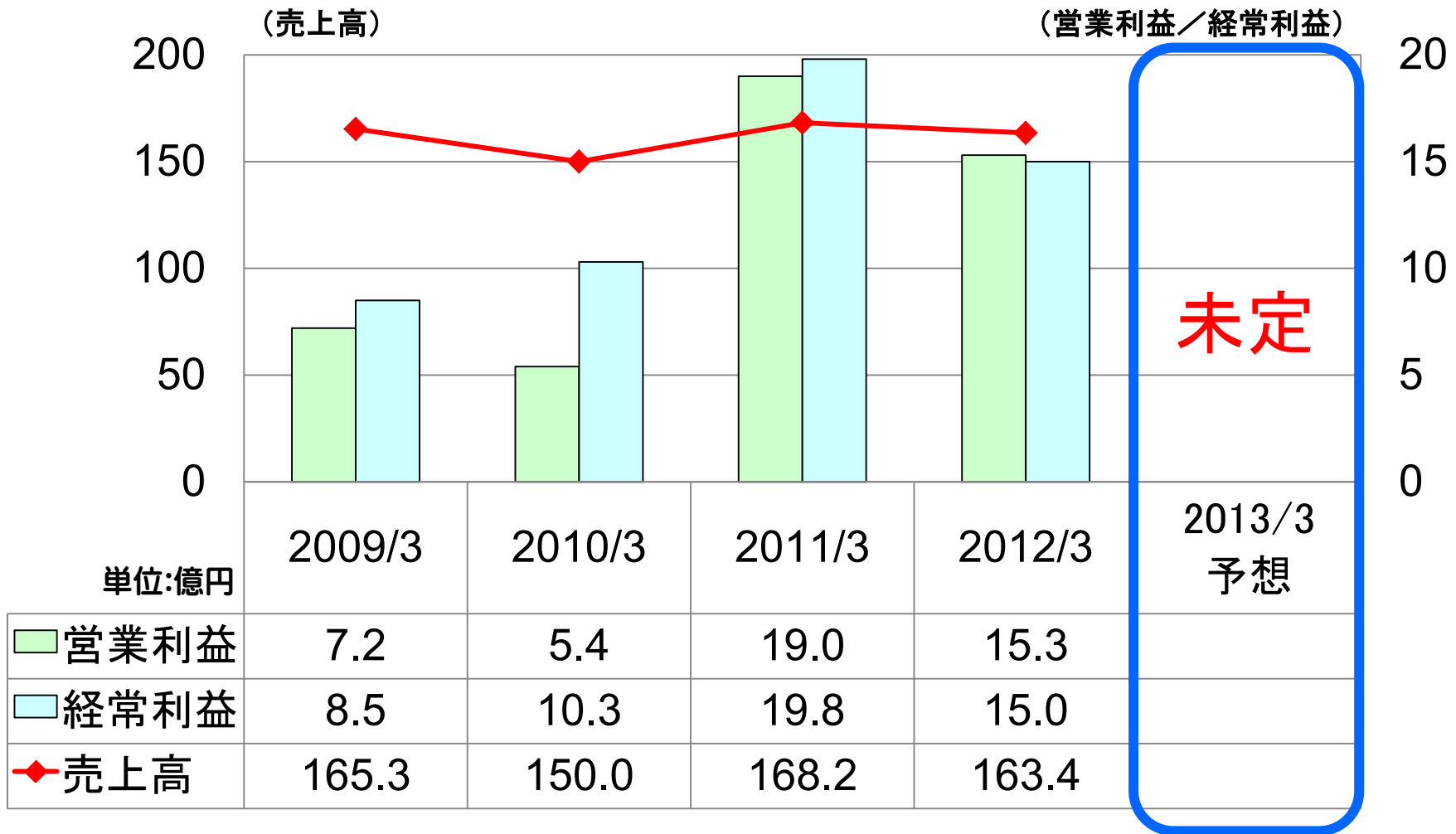
(2012年5月22日付三井化学報告)

当社製品への影響につきましては、弊社担当事業部から個別にお客様へ随時ご連絡申し上げてまいります。

当社製品への影響について

- ★三井化学（株）岩国大竹工場における爆発・火災事故により、当社製品の原料となるメタパラクレゾールプラントが停止。メタパラクレゾールの原料となるサイメンプラントが損傷しております。メタパラクレゾールプラントの運転再開の時期は現在のところ未定であります。
- ★影響が予想される当社製品は、直接的にはメタパラクレゾール誘導品のビタミンE原料・酸化防止剤等。間接的には電子材料原料の一部製品であります。

売上高／営業利益／経常利益推移（連結）



IV.2012年度中期経営計画 ＜2012年度～2015年度＞

2012年度中期経営計画

〔2015年度連結経営目標〕

売上高	250億円
経常利益	35億円
売上高経常利益率【ROS】	15%
総資産経常利益率【ROA】	

〔安全・環境・品質目標〕

事故・労働災害の撲滅	0件
CO ₂ 、産業廃棄物の削減	CO ₂ 削減 ▲1000トﾝ
品質問題の根絶	<クレーム・コンプレイン> 0件

主要戦略課題

1.事業戦略・・・のばせ会社力！

BP-TMC事業の強化・拡大

2.工場の基盤強化・・・みがけ現場力！

1)コストダウンによる競争力強化

2)安全・環境管理体制の整備

3.将来に向けて・・・のばせ会社力！

現状の枠組みを超えた、更なる増収増益策の検討

主要戦略課題・方策

1.事業戦略

1)競争力強化

- 2) 拡 販・・・①BP-TMC事業の強化・拡大(Hi-Bis社の事業強化・拡大)
②クレゾール誘導品(m-CR・TMP)
③ビフェノールの新規用途・市場開拓など
④ビスフェノールFの新規需要家開拓
⑤電子材料事業の拡大(感光性ポリイミド材料)

2.工場の基盤強化

- 1)コストダウンによる競争力強化・・・損益分岐点稼働率の改善
(BEP60プロジェクト完遂)
2)安全・環境管理体制の整備・・・・大規模災害に対するBCP対策実施

3.将来に向けて

現状の枠組みを超えた、更なる増収増益策の検討

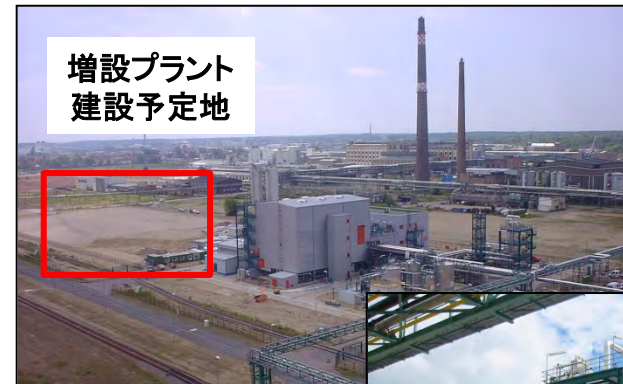
- ①新製品開発等による新規事業立ち上げ
②業務提携・共同研究やM&Aによる事業創出

事業戦略 <BP-TMC事業の強化・拡大>

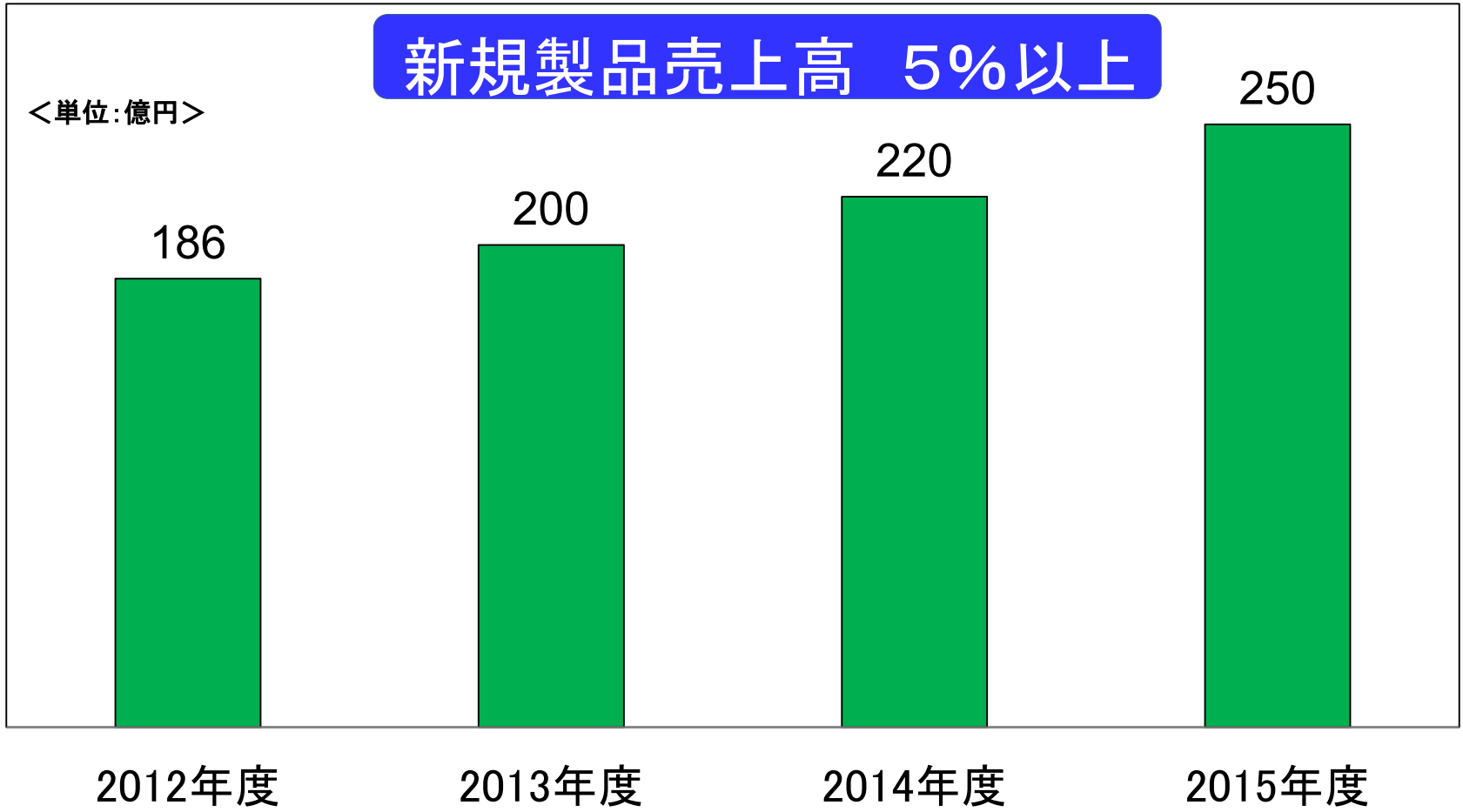
Hi-Bis社(独)において 特殊ビスフェノール製造設備増強

生産能力(現在)5,000t/年⇒(増強)10,000t/年

着工 2012年8月 予定
完工 2014年3月 予定
営業運転 2014年7月 予定
投資金額 約4000万€(約40億円)
※1€=約100円



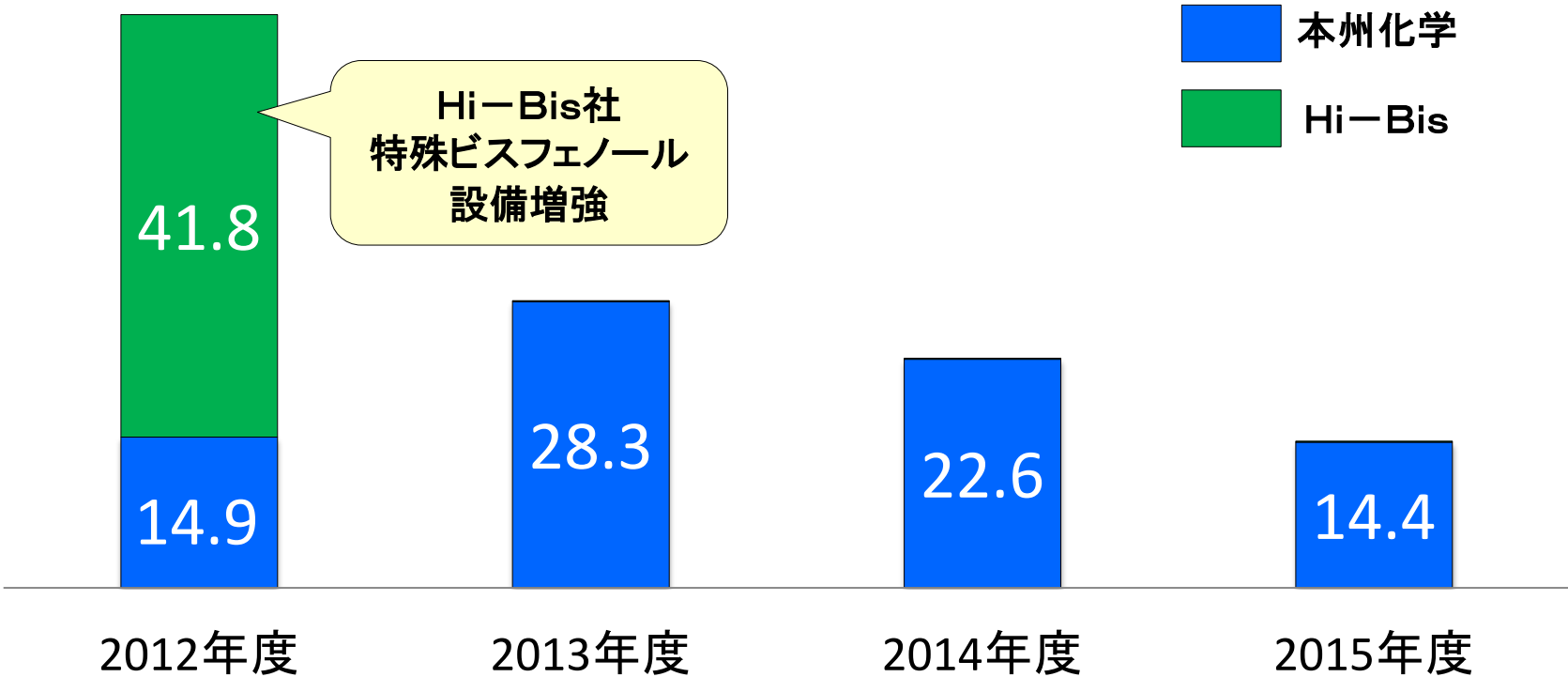
年度別 売上高<計 画>



年度別 設備投資<計 画>

設備投資総額 122億円

<単位:億円>



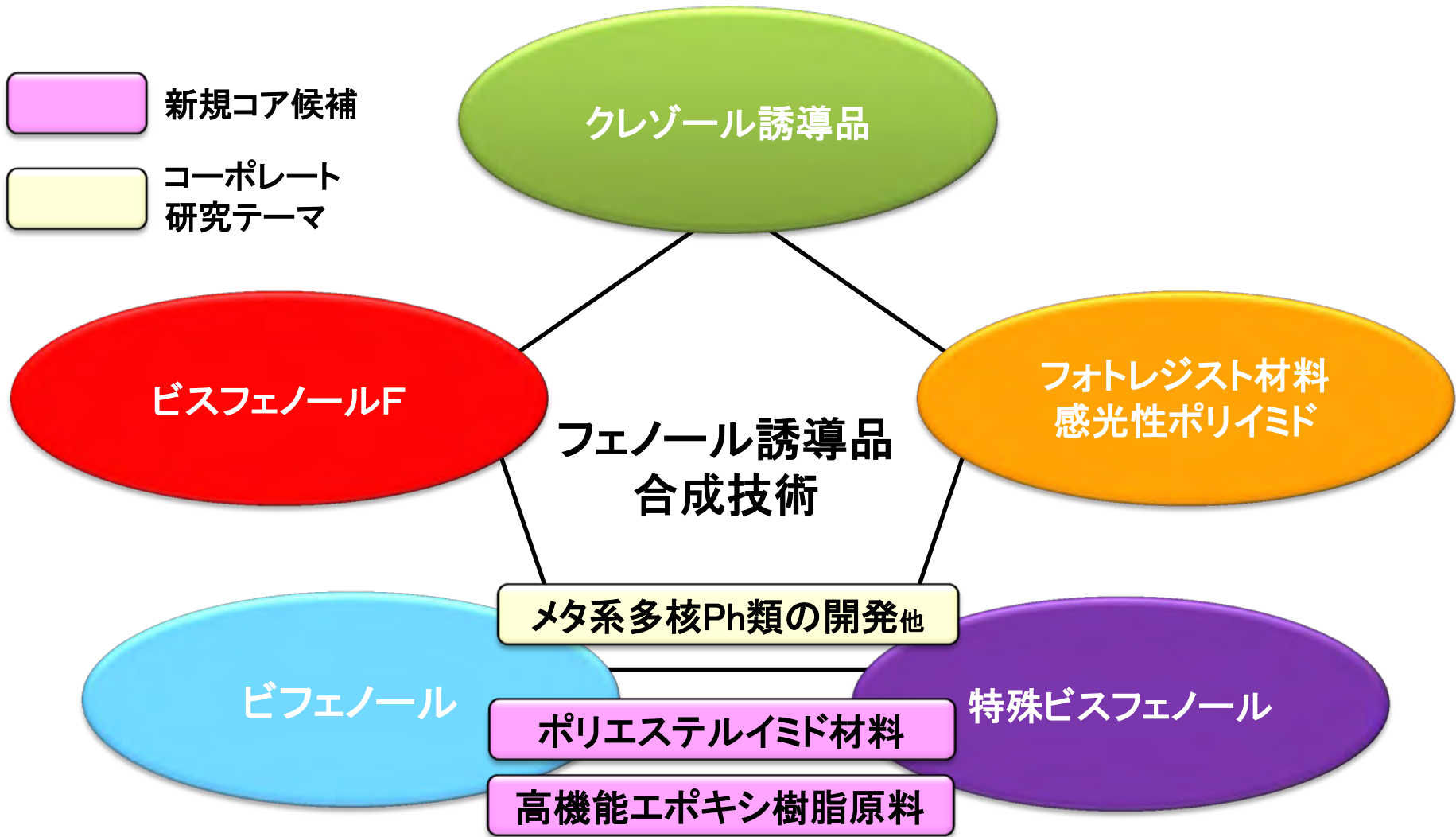
事業ポートフォリオの変革



新規コア候補



コーポレート
研究テーマ



<お問合せ先>

人事総務部 IR担当

TEL 03-3272-1481 / FAX 03-3272-1480

E-mail ir@honshuchemical.co.jp

URL <http://www.honshuchemical.co.jp>

本資料における将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用下さい。